

1















# 新京日日新聞

刊朝

【頁二十第報本】  
本報定価 毎部五圓  
代金 郵便代別  
電話 東京三三三三  
電報 東京三三三三  
印刷所 東京三三三三  
支店 東京三三三三  
支店 東京三三三三  
支店 東京三三三三

御召服は  
井上洋服店  
室町小坂三丁目  
電話三三三三

## 支那の措置如何では

### 海軍側強硬手段へ

#### 海軍、外務首脳部正式協議

##### 政府の態度確定せん

【東京通電】中山水兵射殺事件は九日午後十時前に有吉大使、荒木外務大臣、海軍省に公電が送られた。海軍省は中山水兵射殺事件は、海軍側の責任であるとして、海軍側が強硬手段を執るべきであるとの意見を述べた。海軍省は、海軍側の責任であるとして、海軍側が強硬手段を執るべきであるとの意見を述べた。海軍省は、海軍側の責任であるとして、海軍側が強硬手段を執るべきであるとの意見を述べた。

## 日海軍首脳部協議

### 現地の善處を静観へ

【東京通電】上海の水兵射殺事件は、日海軍首脳部が協議した。日海軍首脳部は、現地の善處を静観する方針を決定した。日海軍首脳部は、現地の善處を静観する方針を決定した。日海軍首脳部は、現地の善處を静観する方針を決定した。

## 狙撃犯人は支那人

### 確證發見の模様

【上海十一日發通】陸軍部は、狙撃犯人は支那人であると確證を発見した。陸軍部は、狙撃犯人は支那人であると確證を発見した。陸軍部は、狙撃犯人は支那人であると確證を発見した。

## イタリイ政府

### 液體燃料統制局設置

【ローマ十一日發通】イタリイ政府は、液體燃料統制局を設置した。イタリイ政府は、液體燃料統制局を設置した。イタリイ政府は、液體燃料統制局を設置した。



大元帥陛下御尊影

## 依蘭縣參事官一行

### 謝文東匪に襲はる

#### 警務局長等十七名死傷

【ハルビン通電】三江省依蘭縣參事官一行は、謝文東匪に襲はれて、警務局長等十七名死傷した。依蘭縣參事官一行は、謝文東匪に襲はれて、警務局長等十七名死傷した。依蘭縣參事官一行は、謝文東匪に襲はれて、警務局長等十七名死傷した。

## 滿洲報協成會成立

### 理事長に高柳氏

【ハルビン通電】滿洲報協成會は、理事長に高柳氏を選出した。滿洲報協成會は、理事長に高柳氏を選出した。滿洲報協成會は、理事長に高柳氏を選出した。

## 不當の銀國有令に

### 北支民衆大反對

【北支通電】北支民衆は、不當の銀國有令に大反對を示した。北支民衆は、不當の銀國有令に大反對を示した。北支民衆は、不當の銀國有令に大反對を示した。

## 中央より離脱せん

### 飽くまで遵奉を強制せば

【南京通電】中央は、北支民衆に遵奉を強制する方針を決定した。中央は、北支民衆に遵奉を強制する方針を決定した。中央は、北支民衆に遵奉を強制する方針を決定した。

## 大使館首脳部會議

### 英支借款問題につき

【倫敦十一日發通】大使館首脳部會議は、英支借款問題について協議した。大使館首脳部會議は、英支借款問題について協議した。大使館首脳部會議は、英支借款問題について協議した。

## 伏見元帥宮

### 工場御成

【東京通電】伏見元帥宮は、工場御成した。伏見元帥宮は、工場御成した。伏見元帥宮は、工場御成した。

## 松岡總裁歸連

### 十六日東上

【東京通電】松岡總裁は、十六日東上した。松岡總裁は、十六日東上した。松岡總裁は、十六日東上した。

【東京通電】松岡總裁は、十六日東上した。松岡總裁は、十六日東上した。松岡總裁は、十六日東上した。

## 越境外蒙兵を逮捕

### ハイラルに送致嚴重取調中

【東京通電】越境外蒙兵は、ハイラルに送致され、嚴重取調中である。越境外蒙兵は、ハイラルに送致され、嚴重取調中である。越境外蒙兵は、ハイラルに送致され、嚴重取調中である。

本店 東京市日本橋區本町二丁目一番地  
資本金 一億圓 (全額拂込済)  
三井物産株式會社  
東京出張所  
電話 三三三三  
電報 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

宮崎式パーチ力  
宮崎組 東京支店  
電話 三三三三

















糸井光彌編作

將軍「も、観客さんにも同じく諸君が明治大業の功績をあらわした生き残りだ。我々が近く永遠に生き残る力がある」。今、この諸君に呼びかける。

大正天皇陛下は平和と正義をつたへて永らく繁栄し、世界有史以来所未有の大業を示す如く恰も大日輪の神の示す如く三世界にその力を萬世にわたる我が日本帝國の榮耀となさるべきこと正しく不世出の大英帝明皇陛下皇座下の水鏡の光がみたまふ事事を忘ててはならぬ

そしてこの大英帝明皇陛下給ひし御勅には「神の日」に當りかねばならぬ

大日輪帝國萬歳(一奉)

古川賢一郎

う微かなやうな「御餅」の聲が洩れるやうな氣がする。それは、退きはまつて……わしは……  
「……前後も居ても居た刀の柄を握り、目を瞑つて精をもつて、議事の太床をゴットン」と叩いた。(ハハッ)と落着いた。陛下はハッと和氣付きながら下つてはその後座で、議事を終了した。

(元帥、唇を得ん。暫しの間言訖然石像のごとく佇立する)

元帥：「又言を發す。それが七月十五日であつた。それより會談をつづけて、十九日の午後、會議廳、御程を順つて、小田原藩邸へと歸つて新風の時雨に來るといつく閑寂の停車場に來る

私は、最近讀んだ新聞雜誌の數多い詩篇中『湖神』十月號發表の詩篇『湖畔神』に深く喜びを覺えた。それは作者金快彭氏で、譯者は大内隆雄氏、前者は滿洲から入つた詩人であり、後者は現代中國文藝に造詣深い汪白由來、滿洲國人の新しい文藝は、僅かに新聞の文藝欄に於ける、半牧畜的な世界以外には、これと云ふまじやつた文藝である。勿論滿洲事變前のやうな、政治的變化による、社會不安の中で、新しい文藝家を生長するには、その文化はあまりに混沌としてゐる。然し滿洲文化を奨励して今や創られた文化の曙光光輝を來た。そして、その光に希望を抱いて、金快彭氏の如き新しく詩人を登場となつたのである。見給。「湖畔の朝」に於ける『遠望秋歌』の鐵い感覺を、ビートン張られた鐵板の、磨き上げた光りの如き、その表現力力強さを、私の心か如くすぐれた詩人に、在滿日本人の間、詩人を、在滿日本人の間、紹介された大内氏のを衷より喜んでゐる。滿洲文化に於ける日滿の聯手だそれ未だ第一歩かも知れぬ。現

カワト  
池邊青李

春夫は、さういふアミで自動車をばせ、自分と藤千手を先に乗せ、あとは蒲子を残に坐つた。クリスタル・ダシス（ハレりの名）までは直ぐだったが、このうすら寒い夜、若くこれらの女たちと馬車で行く程のものではなかつたらう、短く通だつたが、いさか酔ひの廻つた眼で、紅や黄や紫のネオンの街を覗み据つてゐる。春夫にはふとやつた大連の繁華の貌その眞

の蒲子の男がつた大津真三とそれ以外數人だけで自動車に乗られてゐる時のごとき鮮やかに一瞬思ひ出されてゐた。

そして直ぐ思つたのは知らぬ、それは當人同士は知らぬのに、結局實人と立ち會くことになつたところの、さながら前妻のやうな、火が最後に消える前に一面華麗に燃え上るやうな、そのやうな一つの過程ではなかつたか、さう思ふことはむづかしい運命論的な大津真三を愛した

「誰れかがゐると、このホテルには！」  
あとで考へると、蒲子がを降ししなさいと言つたのを彼女もまたその晩だけは何斯も感性的になつたといふであつた。そして事實、彼等はそのホテルで、朝早い酒を呑んで來、紅葉を飲んで

桃  
北  
好  
登

あたりの雪を飲んで静かに眠りにけり此の夜を雪ぞ荒みけるとなふ  
しんしん雪こそつれ目覺めるて生者必滅を思ひ  
懷む  
十方世界寒雲深き夜となれば狂者のごとくわれは眠らむ  
放浪の幾夜かの夢によわよわし女人のものをわすれかねつゝ  
白雪を踏みしだきつづぬかれた少年の日の記憶甦へり來

老菜、長歌一首並に返歌

汝がたまに月に祈ると、わが父は並に賜ひにき、  
思はへばしづけくあけり、老らくて心すべなみと  
その子らを頼りますか、頼りなくひくるにまさむ  
さむ、垂垂の父。放野の心いたみて、返しへ書  
かざる今、現つても眼にぞ顯かる。ほのぼのと  
坐りたるまゝむ父が影に入りしげく、ありがたきも  
月に對ひて酒のみるまゝ父がかげ出たされつづ  
寒き此頃

けり、老らくの心す

その子たる頼りますか。頼りなみてゐるにまじさむい、垂栗の父、放牧するやうに、返しかへ書きかざる今の、現つとも眼を顧みなく、はげぼのと歩けるままひき、父が影先にしつけくあがかたつかも月里に對して酒のみるままひをかかけ思出されつつ寒き此頃

滿洲國のすれぬ新しい詩人を見出す事は非常に困難なことである。それは非難に瑣玉を拾ふやうなものだ。

然し將來、滿洲國は滿洲國の新しい文藝を許すであろう。最初には現代文學の歪流として、そして影響を受けることも、私北方文學の新しい獨立を期待してゐる。

それには、我々日本人の心から、正しく互を必要とするだらう。今文化の全面的建設の時にある時、文藝の部門一時に於て、私はその第一歩を見出し喜びに懷てる。

▲本欄の短編集『新集』は新年文壇大々的につづいたため、前回を越えたいふしたため、この近日常報の裏面にその短編近日目録を発表せよと、小宮君の希望を表せる。短編集『約十川柳詩短歌集』、『飛燕帖』用定である。諸見姉の用語のため、飛燕帖の用意

▲募集小説中説巻君作題「武日」三日前發表する（一）

ばい風會吟抄  
落葉掻く手に便をけけ  
落葉早き鎌倉に藩びにけ  
落葉早き小首かに仙八  
自機車のあととほ追ふ

麻

短日や拭き残したる

[illegible]

中野實「疎心中」野  
等々と相俟つて本年

であつた。  
 「大津よ」  
 「ニュー・ライフだね。」  
 「さうだらう」  
 春夫だけが、の卓に行つて  
 一別以来の挨拶を交した。  
 「あひかはちやうやつてるね」  
 その細君の前で、大津がや  
 つと言ひ得た、友情的な言葉  
 であつた。  
 「あ、ぼくたちはけふ朗ら  
 かな」  
 それには、満子が大津に向  
 つて投げつけたといふ敬して  
 するその意思を含ませて春夫  
 の一言ひ、直ぐ自分分の席  
 にかへり、満子で促しに、開  
 物ブルースをいねいに開

つた、満子は殆んど根子  
 つて、その右の手をにぎ  
 つて、力をこめて来るのだ  
 彼女には、はるかに推  
 れた過去を、ひきなせ  
 個の女としてのジャズ  
 超えた、顔、おほきさ  
 といったものがあつた  
 らう。  
 藤子にはダンスとい  
 つて勝つて行つた。大  
 も、勝つてゐる春夫に  
 を掛けて去て行つた  
 入れ、春夫はきつた  
 力を入れ、満子を強く  
 めてゐたのである。  
 「元氣を出せ、元氣を  
 耳ともよこせ、叫んで

だつた。  
 満子は、その木  
 の時を待たされて  
 意力でしつと發表  
 事を待望するもの

講談にも越言でない  
 語調に、越言、眞が  
 せてゐるのは本年最  
 ビスでもといふこと

御覆物の百貨店

金鶴香油

日本一 おたふくわた

民事  
刑事

辯護士 別役増吉

（新）京中央通十一  
事務所電話（三）二四一番


御宴會は  
五十名様  
由引受  
曜日通  
曜三九三六

品

江月珍珠  
磯

乃月

本店

  
 百部屋ノ都ス  
 マス。レシ  
 ラデ他  
 其低廉  
 .....  
 國幣  
 マズ  
 ヲ七時  
 本  
 本ナル

電話三一二〇三番

入 隨  
荒 時

新設 電話 五七〇九番  
電話 本局二ノ一二四五番  
豫定 分局三ノ二二二九番

配達致します

電六八〇七番


  
**森永ドライミルク**
  


森永ミルクキャラメル







# 想定 素破、國交斷絶せり

## 空襲！國都危し

### 燈火管制下の二時間を 市民躍起完全遂行へ

### 今夕燈火管制演習

空襲警報の発令は、市民の注意を要する。素破、國交斷絶せり。空襲！國都危し。燈火管制下の二時間を、市民躍起完全遂行へ。今夕燈火管制演習。空襲警報の発令は、市民の注意を要する。素破、國交斷絶せり。空襲！國都危し。燈火管制下の二時間を、市民躍起完全遂行へ。今夕燈火管制演習。

# 退院を俟つて 再び奮闘せよ

## 負傷勇士の父、銃後の激勵

「吉川勇退」去る九月九日午後三時三十分、縣立病院に於て、負傷勇士の父、銃後の激勵。退院を俟つて、再び奮闘せよ。

# 防空献金へ 二老女の御歌歌行

## 皇太后陛下 御下賜金

防空献金へ、二老女の御歌歌行。皇太后陛下、御下賜金。防空献金へ、二老女の御歌歌行。皇太后陛下、御下賜金。

# 討匪戦塵に咲いた 日満融合の華

## 老頭口死戦後の佳話判明

討匪戦塵に咲いた、日満融合の華。老頭口死戦後の佳話判明。討匪戦塵に咲いた、日満融合の華。老頭口死戦後の佳話判明。

# 頻々と盗まれる 廊下のオーバー

## 時節柄の鼠賊に御注意を

頻々と盗まれる、廊下のオーバー。時節柄の鼠賊に御注意を。頻々と盗まれる、廊下のオーバー。時節柄の鼠賊に御注意を。

# 泥酔の高岡組使用人 汽車にふれ重傷

## 頭蓋底を骨折して生命危篤

泥酔の高岡組使用人、汽車にふれ重傷。頭蓋底を骨折して生命危篤。泥酔の高岡組使用人、汽車にふれ重傷。頭蓋底を骨折して生命危篤。

# 電通創立 卅五周年記念式

## 管区長更迭

電通創立、卅五周年記念式。管区長更迭。電通創立、卅五周年記念式。管区長更迭。

# 板津部隊 共匪七十を潰走

## 小川大尉の 慰霊祭執行

板津部隊、共匪七十を潰走。小川大尉の、慰霊祭執行。板津部隊、共匪七十を潰走。小川大尉の、慰霊祭執行。

# 三毛部隊の 剿匪状況

## 剿匪成績

三毛部隊の、剿匪状況。剿匪成績。三毛部隊の、剿匪状況。剿匪成績。

# 社会員卓球大会

## 新築へ移転

社会員卓球大会、新築へ移転。社会員卓球大会、新築へ移転。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 雄略線開通式

## 昨夕歸京

雄略線開通式、昨夕歸京。雄略線開通式、昨夕歸京。

# 大衆茶館 パレス

## 日本橋通

大衆茶館、パレス。日本橋通。大衆茶館、パレス。日本橋通。

# 遊谷本部隊

## 剿匪成績

遊谷本部隊、剿匪成績。遊谷本部隊、剿匪成績。

# 社会員卓球大会

## 新築へ移転

社会員卓球大会、新築へ移転。社会員卓球大会、新築へ移転。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 新築へ移転

## 決戦競漕

新築へ移転、決戦競漕。新築へ移転、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。

# 決戦競漕

## 全滅的打撃

決戦競漕、全滅的打撃。決戦競漕、全滅的打撃。

# 全滅的打撃

## 決戦競漕

全滅的打撃、決戦競漕。全滅的打撃、決戦競漕。



